
豚熱発生を防ぐために

J A / 経済連 / 全農 / くみあい飼料(株) / (株)科学飼料研究所 / 全農畜産サービス(株)



全農畜産生産部

目次

- 直近の豚熱発生状況の特徴
- 農場・豚舎への豚熱ウイルスの侵入経路と予防対策のポイント
- 豚熱対策の考え方
- イノシシ対策
- 野鳥・小動物侵入防止、ネズミ・害虫
- 衛生管理区域に立ち入る車の消毒
- 衛生管理区域専用衣服、専用靴の設置と履き替え
- 豚舎専用衣服、専用靴の設置と履き替え
- 衛生管理区域/豚舎に立ち入るものの消毒
- 豚群の健康状態観察、異状時の早期通報徹底
- 飼養衛生管理基準の遵守
- ワクチンについて

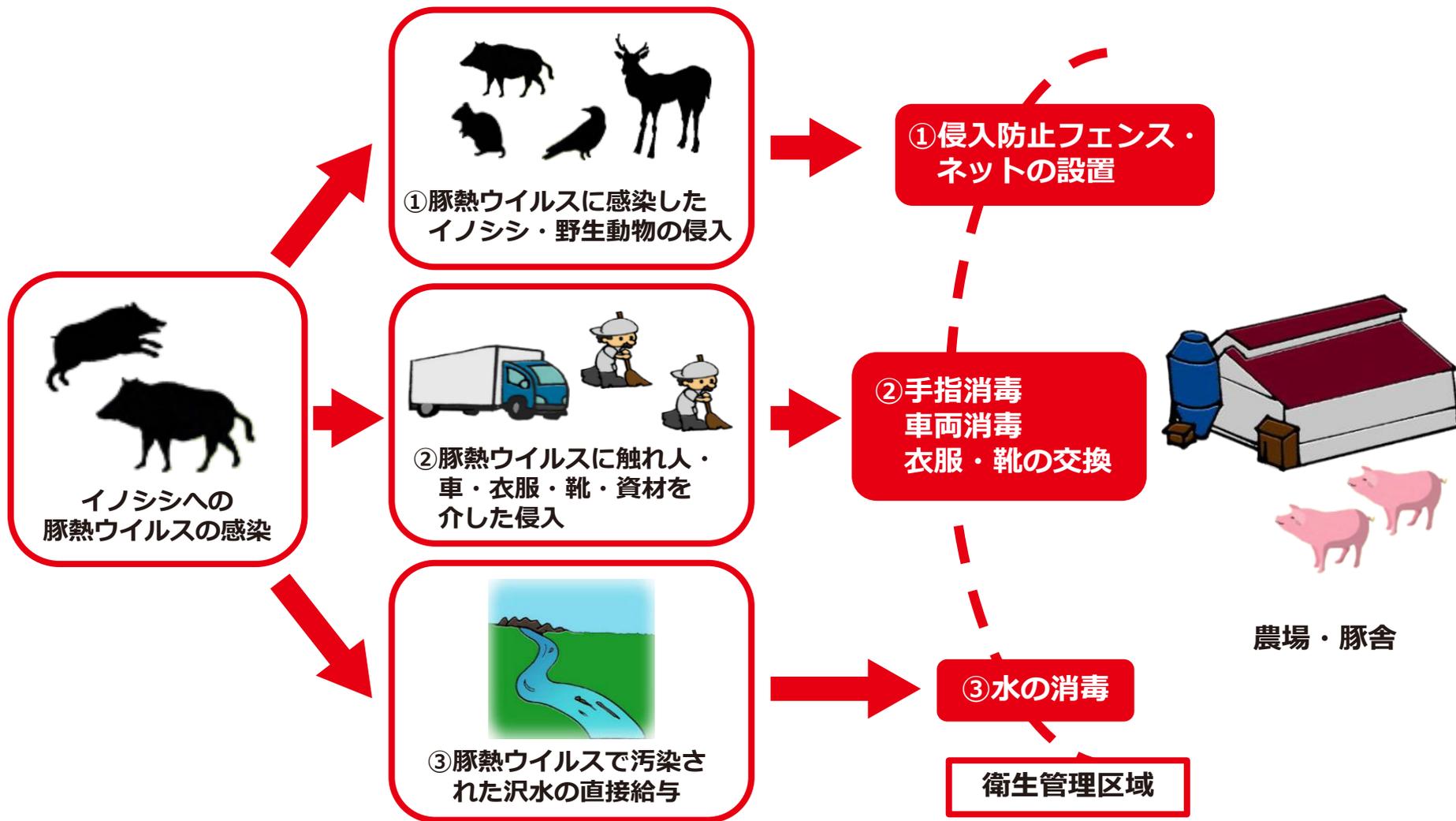
直近の豚熱発生状況の特徴

- ワクチンを接種した農場でも発生しています
- 特にワクチンを接種する前や接種した直後の子豚で多く発生しています
- 発生農場の周辺では、発生する前に豚熱ウイルス陽性の野生イノシシが確認されています



- 豚熱は**ワクチンを打てばかからない病気ではありません**
- 豚熱発生を防ぐには、**日ごろの飼養衛生管理を徹底するとともに、特にイノシシなど野生動物の侵入を防ぐことに特段の注力**をしましょう

農場・豚舎への豚熱ウイルスの侵入経路と 予防対策の重要ポイント



豚熱対策の考え方

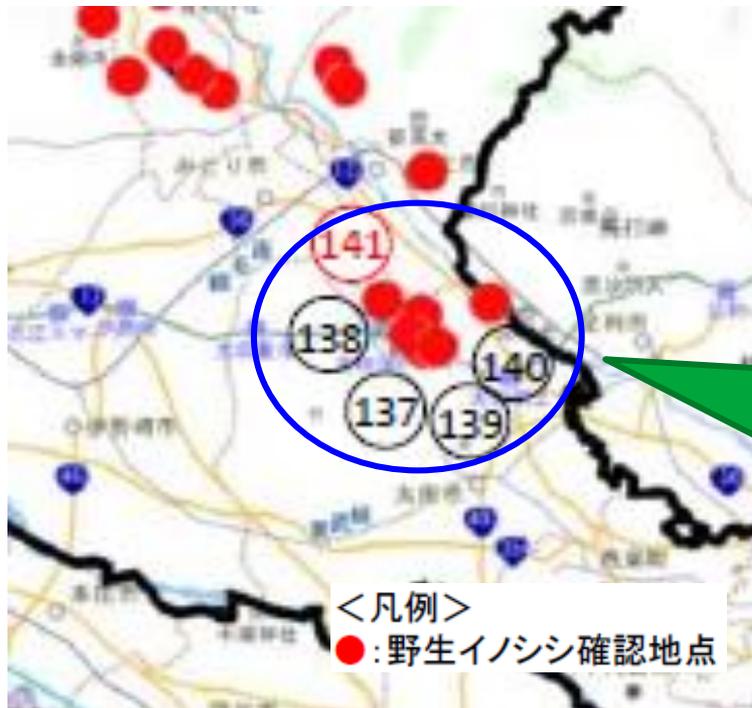
- 飼養衛生管理基準に基づいた5つのポイント
 - 1.野生動物の侵入を防ぐ対策
 - イノシシ対策（野生動物の中で最重要）
 - 野鳥や小動物の対策、定期的なネズミ・害虫の駆除
 - 2.衛生管理区域に立ち入る車の消毒
 - 3.衛生管理区域/豚舎に立ち入る者・資材の消毒
 - 手指消毒
 - 資材消毒
 - 4.衛生管理区域／豚舎の中での専用衣服の着用
 - 5.衛生管理区域/豚舎の中での専用靴の設置と履き替え

イノシシ対策

豚熱発生農場からの教訓①

①農場周辺(農場から約5 km 以内)の野生イノシシから豚熱ウイルスが検出されるとリスクが高いと考えられます。

➡イノシシの豚熱検査情報の調べ方は8ページにあります。



同一の市内で連続して豚熱陽性イノシシが確認された後に養豚場で豚熱が発生。(図中の数字は豚熱陽性イノシシが確認された事例目を表しています)

出典：群馬県HPより改変

イノシシ対策

豚熱発生農場からの教訓②

- ②農場周囲のフェンスや従業員駐車場などで野生イノシシによる掘り返し跡などが確認される場合もリスクが高まっていると考えましょう。



イノシシの掘り返し跡 赤矢印：掘り返し地点（出典：復興庁HP）

イノシシの特徴（習性・繁殖など）

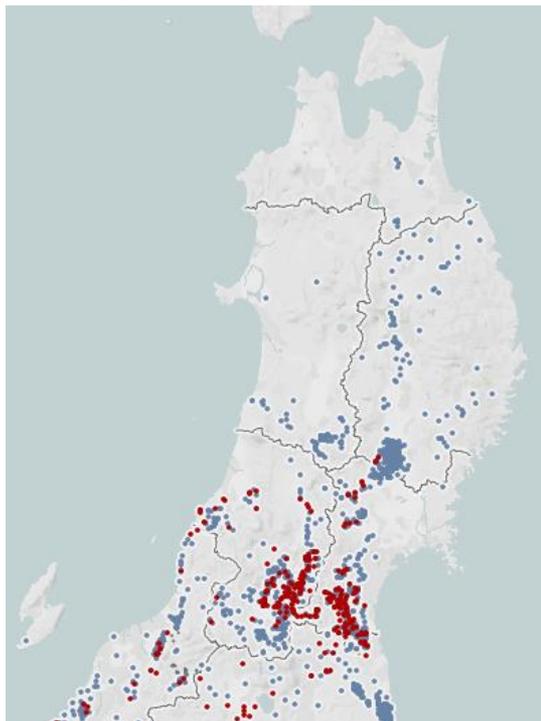
- ・昼夜問わずエサを求めて活動（味が濃く甘いものが好物）
 - ・通常の行動範囲は2~3km²で定着と移動を繰り返す。
 - ・本来、警戒心が強く、臆病で注意深く、人前に姿を現さないが、一度慣れると大胆不敵にもなる。
- ➡学習能力が高く、一度餌場と認識した場合、あらゆる手段を用いて侵入する。よって、**農場侵入を何度も試みるので注意！**

○季節ごとのイノシシの行動について

冬	春	夏	秋
発情・交尾期	出産・授乳期		性成熟
オスはメスを探して活発に徘徊する	4~6月になると出産期をむかえ、授乳期間は約4か月		オスは性成熟すると群れを離れ単独で生活

イノシシの生息域が北東北全域に拡大中！

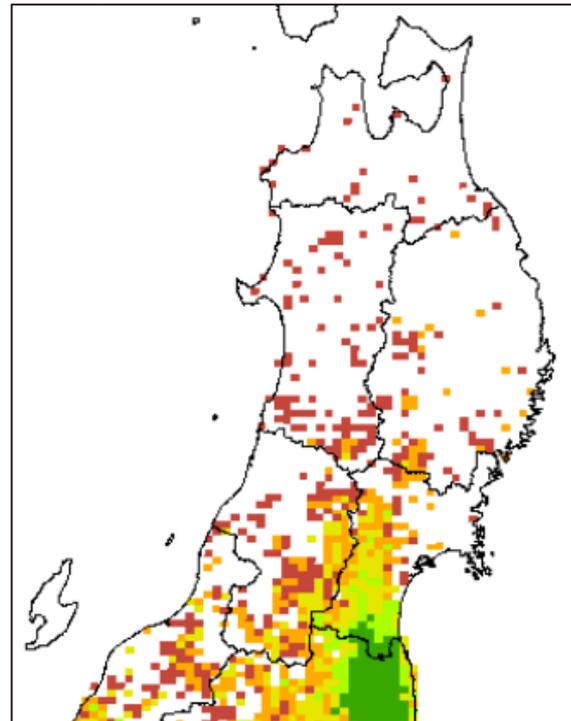
- 宮城県が北限というのは昔の話 今は北海道を除く全県に多数が生息



- 農水省の捕獲調査結果（WEB公開）

青：豚熱陰性 赤：豚熱陽性

北海道以外の全ての県に分布



- 環境省の生息調査（令和2年度）

黄：平成26年／赤：令和2年に確認

6年間で北東北の全域に拡大

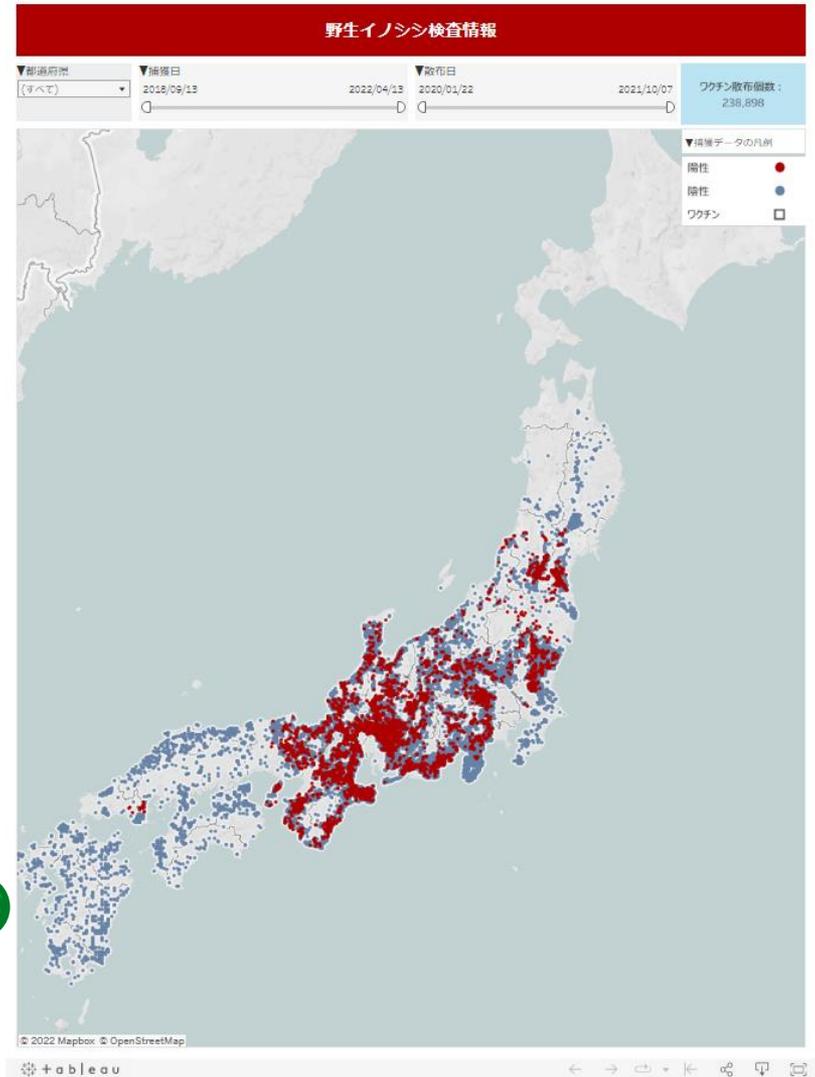
野生イノシシ豚熱検査情報

閲覧者が画面を自由に操作して検査結果を確認できます。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html

(農水ホームページ)

あなたの近くで
豚熱陽性のイノシシが
見つかっているかも・・・

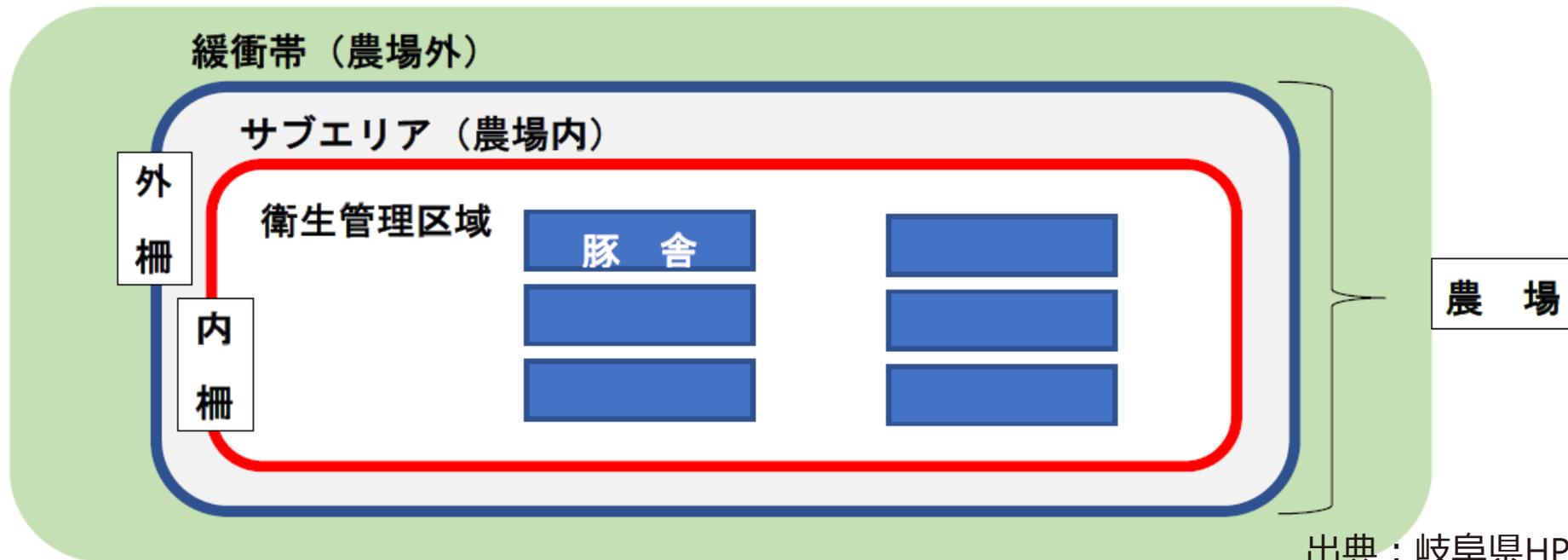


イノシシ侵入防止対策①

イノシシ侵入防止強化案

- ・ 農場外周には外柵、衛生管理区域を内柵で囲み、外柵と内柵の間に一定幅のサブエリアを設けます。
- ・ 外柵の外にさらに緩衝帯を設定します。

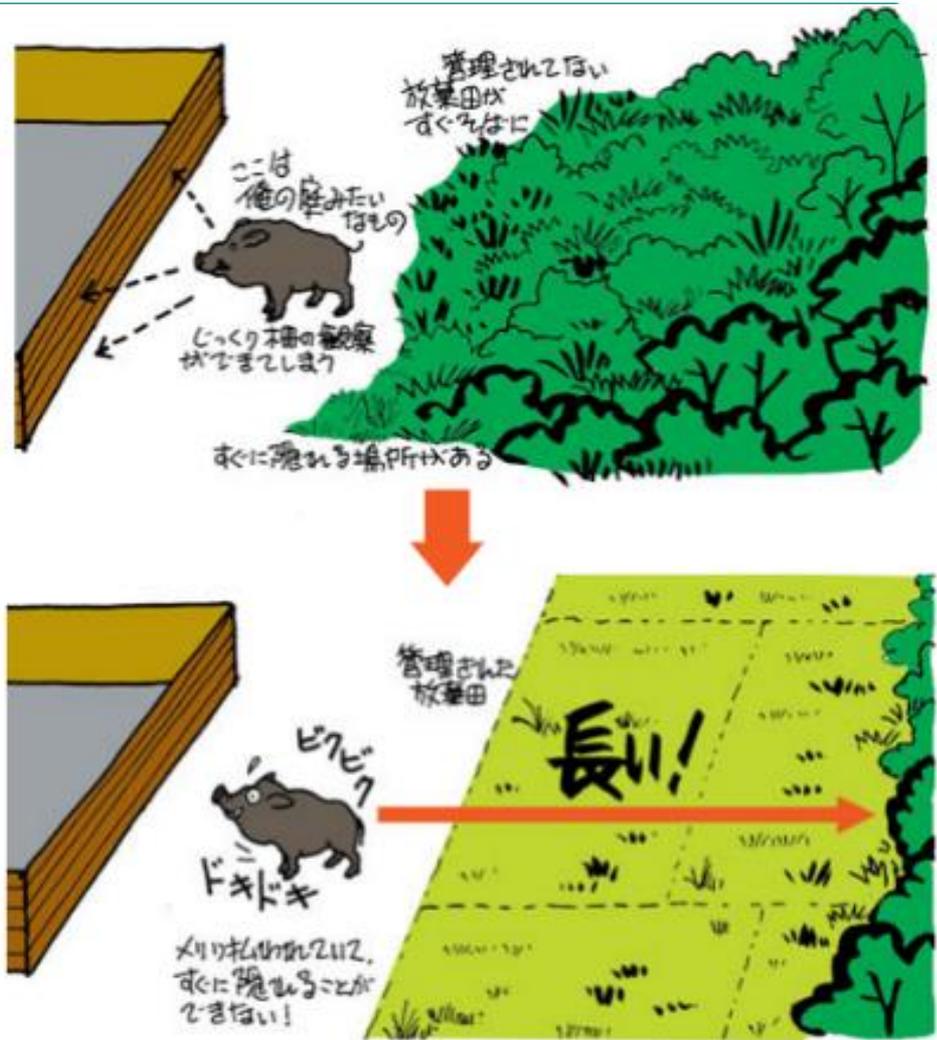
<イメージ>



出典：岐阜県HP

イノシシ侵入防止対策②

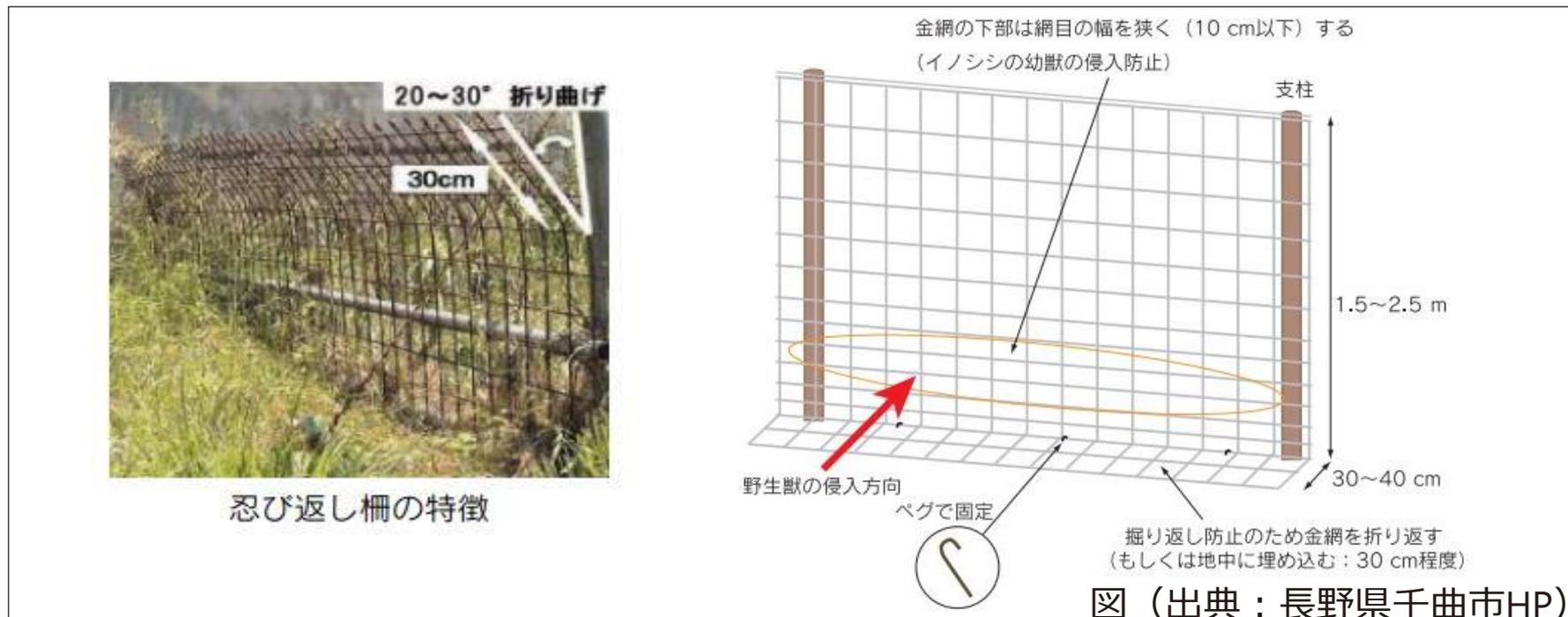
- 緩衝帯（農場外）は常時草刈り、整理整頓を行います。
⇒野生イノシシが体を隠す場所がないようにする
⇒警戒し、移動しにくい
- 手入れがされていない道路の法面や、河川の緑地帯はイノシシの移動ルートとして利用されやすいので注意が必要です



出典：岡山県HP

イノシシ侵入防止対策③

- 農場外(外柵)、農場内、衛生管理区域を分ける柵(内柵)はイノシシの侵入を防ぐため適切な網目や高さで隙間なく設置しましょう。
- 柵を地面に固定する、掘り返し防止も必要です。
➡定期的な見回りと破損部位の補修も忘れないようにしましょう。



イノシシ侵入防止対策④

農場周囲：フェンス設置(SPF農場例)



外周



敷地内豚飼養エリア



2重フェンス
フェンス+掘り起こし防止



野鳥・小動物侵入防止、ネズミ・害虫駆除

豚熱ウイルスを、豚舎内に持ち込ませない対応も重要です。
豚舎開口部を中心に対策します。

野鳥・小動物侵入防止、ネズミ駆除の対策



防鳥ネット(側面)



防鳥ネット(入口) 出典：長崎県HP
開口部への設置(すき間対策も)



ネズミ対策
定期的な交換

豚舎へのウイルス持ち込みを防ぐために

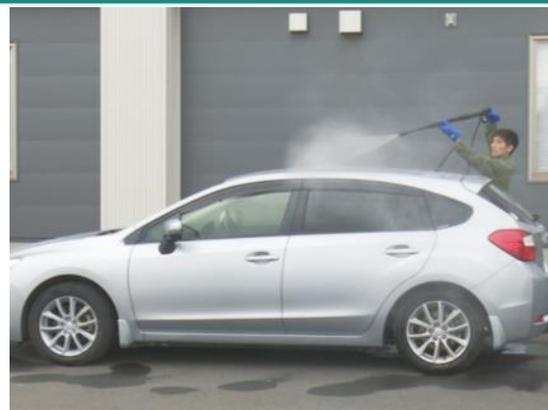


- 豚を移動する際は、**絶対に敷地の地面を歩かせない**
⇒豚舎内への持ち込みリスクを低減する
- 移動で使用するフォークリフトのはねあげ泥も豚にかからないようコンパネ等の設置

衛生管理区域に立ち入る車の消毒



消毒ゲートによる消毒、ゆっくり通過



動力噴霧器を用いた消毒



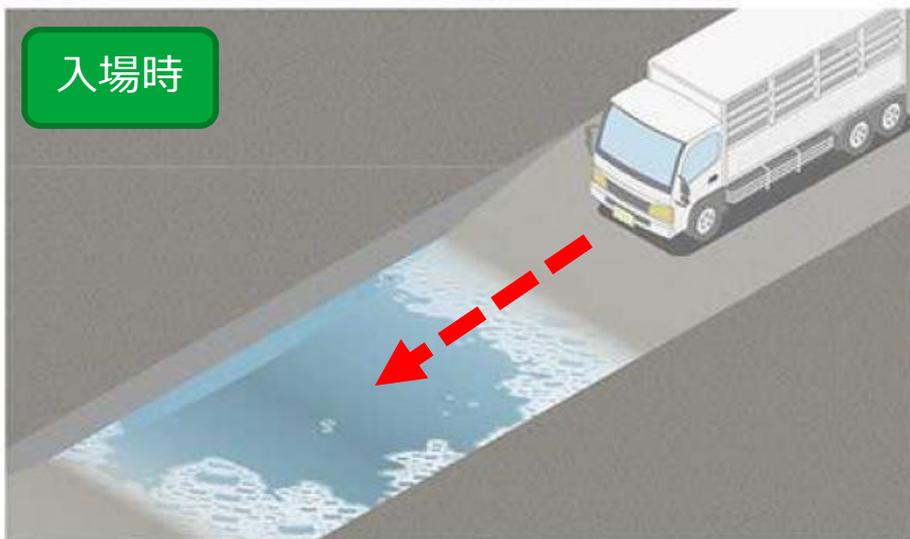
衛生管理区域専用フロアマットの使用(運転手を介した汚染を防ぐ)



タイヤハウスは特に念入りに消毒する

衛生管理区域に立ち入る車の消毒

- 衛生管理区域の入り口に消毒設備を設置し、入退場時に車両を消毒し、豚熱ウイルスの持ち込み・持ち出しを防ぎます。
- 車内における交差汚染を防止します。



▲車両用消毒槽



▲退出時の動力噴霧器を用いた車両消毒風景

消毒薬：ロンテクト500倍希釈液をお勧めします

衛生管理区域/豚舎に立ち入る際の手指消毒

- 衛生管理区域または豚舎立ち入る際の手指消毒を実施し、豚熱ウイルス持ち込み防止を図ります



手にはたくさんの細菌が付着



消毒



消毒により手に付着する細菌が減少

消毒液の設置場所と適した消毒薬の種類

	設置場所	消毒薬の例
農場内・豚舎	豚舎内散布、器具、車両、 踏み込み消毒槽	逆性せっけん（ロソテクト500倍希釈）
	豚舎内散布、豚舎前室、地面	消石灰
	豚舎の出入り口	手指消毒用の消毒用アルコール
	豚舎のトイレ、休憩所 等	薬用せっけん
事務所	出入口(消毒液、マット)、器具、車両	逆性せっけん（ロソテクト500倍希釈）
	事務所周辺、駐車場、地面	消石灰
	事務所の入り口	手指消毒用の消毒用アルコール
	事務所のトイレ 等	薬用せっけん

消毒薬の力を最大限に引き出す

消毒薬の効き目は徐々に下がっていきます。

毎日の交換が基本です。

1. 逆性せっけんを使う時の注意

- 温度が低いと効果が落ちます。25℃と5℃では、数十倍も効果に差があります。
- 冬は一番濃い500倍希釈を基本にしましょう。さらに消石灰を加えてアルカリ性になると効果が増します。
- 少しでも暖かい水を使い、気温の上がるお昼時に消毒をしましょう。

2. 消石灰を使うときの注意

- 消石灰は水分と反応して強アルカリ性になり、消毒効果を発揮します。
- 踏込み消毒槽に消石灰を使う場合は、液体の消毒槽をはじめに置きましょう。
- 湿り気があってはじめて消毒効果を発揮します。

<消石灰使用時の注意点>

- 消石灰は古くなると空気中の炭酸ガスや水と反応して炭酸カルシウムとなり消毒効果がなくなります。
- 1週間をめぐりに交換しましょう。
- 地面に散布した場合、雨が降ったあとは効果が落ちるので散布しなおしてください。

畜産用消毒薬一覧

一般的な消毒剤はいずれも効果あり

消毒薬	商品名	薄める倍率	金属腐食性
逆性石けん	ロンテクト	500倍～2000倍	ほとんどない
	パコマ	500倍～2000倍	
	クリアキル100	500倍～2000倍	
	アストップ	500倍～2000倍	
塩素系	アンテックビルコンS	500倍～2000倍	少しある
	クレンテ	300倍～3000倍	
	スミクロール	100倍～1000倍	
ヨウ素系	クリンナップA	200倍～800倍	少しある
	ファインホール	200倍～800倍	
	バイオシッド30	500倍～1000倍	
	ポリアップ16	2000倍～5000倍	
アルデヒド系	グルタクリーン	200倍～1000倍	少しある
	エクスカット	200倍～1000倍	
オルソ剤	オーチストン	100倍～300倍	少しある
	ゼクトン	100倍～300倍	
	タナベゾール	100倍～200倍	
アルコール	消毒用エタノール	そのまま使用する	ない
過酢酸製剤	ピネパワー	600倍(踏込み消毒)	少しある
その他	水酸化ナトリウム	50倍溶液にする	
	炭酸ナトリウム	25倍溶液にする	
	生石灰	水を加え散布	
	消石灰	そのまま散布	

*：原液、原体の取扱いに注意が必要な消毒液もありますので、取扱説明書をご確認ください

消毒薬の希釈早見表

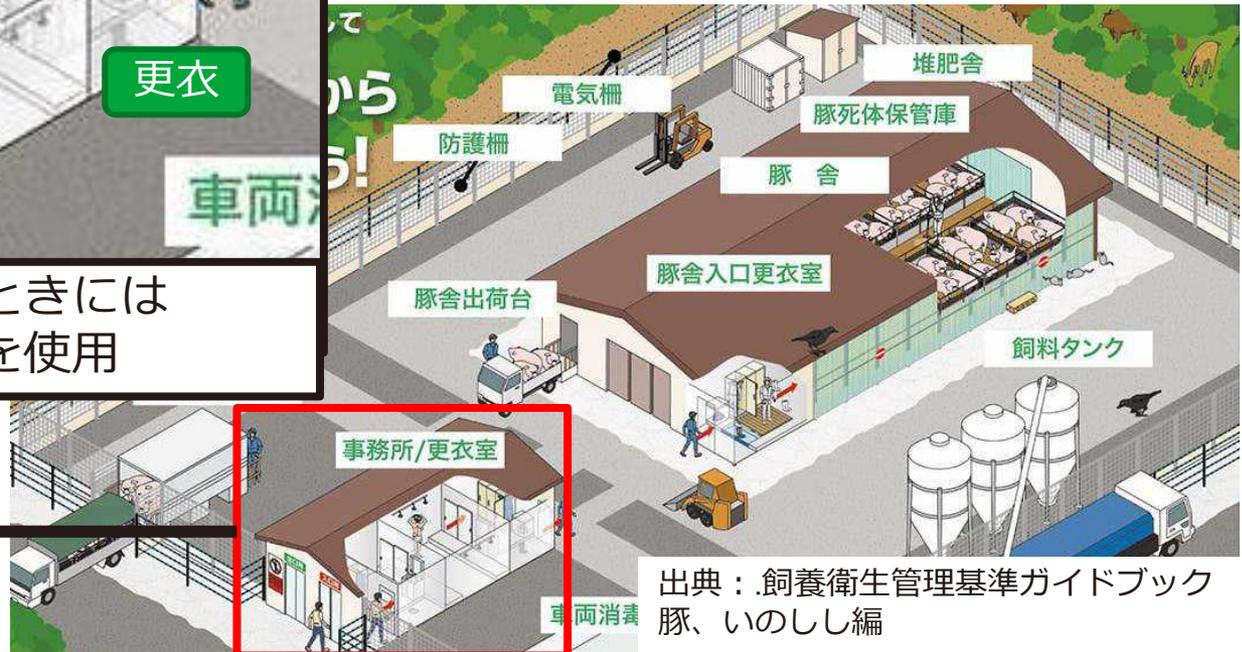
希釈倍率	以下の量の消毒液を作るのに必要な原液			以下の量の原液で作れる消毒液の量		
	18リットル	100リットル	500リットル	100ミリリットル	250ミリリットル	500ミリリットル
100倍	180ミリリットル	1リットル	5リットル	10リットル	25リットル	50リットル
300倍	60ミリリットル	333ミリリットル	1.7リットル	30リットル	75リットル	150リットル
500倍	36ミリリットル	200ミリリットル	1リットル	50リットル	125リットル	250リットル
1,000倍	18ミリリットル	100ミリリットル	500ミリリットル	100リットル	250リットル	500リットル
2,000倍	9ミリリットル	50ミリリットル	250ミリリットル	200リットル	500リットル	1,000リットル
3,000倍	6ミリリットル	33ミリリットル	166ミリリットル	750リットル	750リットル	1,500リットル

衛生管理区域専用衣服、靴設置と履き替え

- 豚熱ウイルスを衛生管理区域内に持ち込まないために
衛生管理区域専用の長靴、作業着を使用します



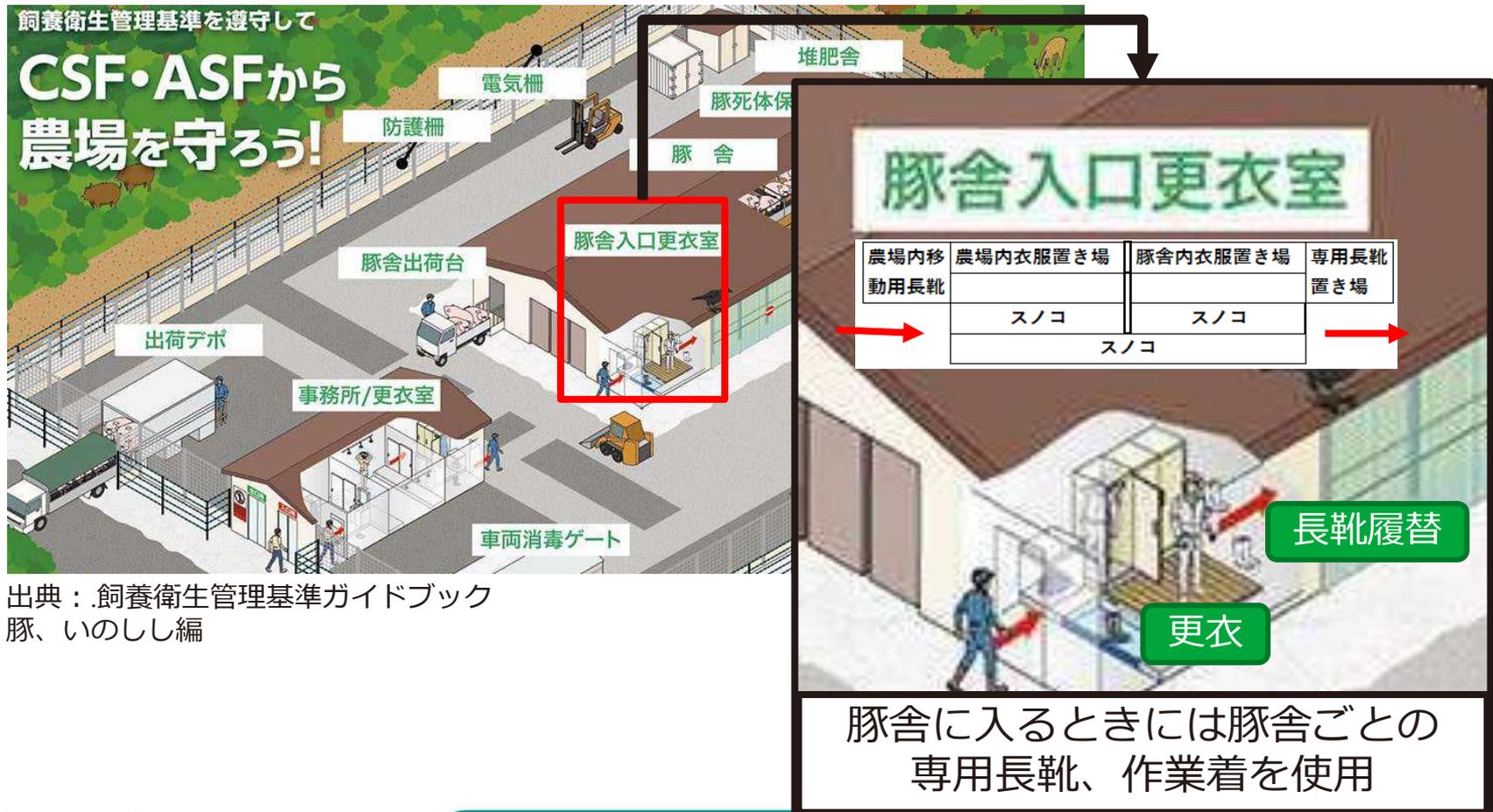
衛生管理区域に入るときには
専用長靴、作業着を使用



出典：飼養衛生管理基準ガイドブック
豚、いのしし編

豚舎専用衣服、専用靴の設置と履き替え

- 豚熱ウイルスを豚舎内に持ち込まないために、**豚舎毎の専用長靴、作業着を使用します**



出典：飼養衛生管理基準ガイドブック
豚、いのしし編

外国から肉類を持ち込まないこと

- 豚熱やアフリカ豚熱のウイルスが、外国産の肉類から見つかっています。
- 農場や事務所の職員が外国からソーセージやハムなどの食肉製品を持ち込まないようにしましょう。
- 加熱・非加熱を問わず、日本への肉類・肉製品の持ち込みは禁止です。
- 正式な検査を受けずに持ち込んだ場合、3年以下の懲役または100万円以下の罰金となります。
- 職員には外国語での案内も積極的に行いましょう。

豚群の健康状態観察、異状時の早期通報徹底

<考え方>

豚熱は特徴的な症状がなく、気づきにくい病気ですので、毎日の豚群の健康状態観察を徹底します。

<対策>

下記状況の場合、直ちに最寄りの家畜保健衛生所へ相談してください

- ①同一の畜房内において元気消失、食欲不振、発熱、削瘦等を示す豚が増加している場合。
- ②耳翼、下腹部、四肢等にチアノーゼがある場合。
- ③同一の畜房内において複数の豚が突然死亡する場合。

元気消失



出典：農水ホームページ

チアノーゼ



出典：農水ホームページ

飼養衛生管理基準の遵守

- 手当金の減額事例について

疾病発生農場において、発生やまん延防止のために必要な措置を講じていないと、手当金や特別手当金が減額されます。

○早期通報違反

○飼養衛生管理基準違反



飼養衛生管理基準を遵守することが重要

主な減額理由

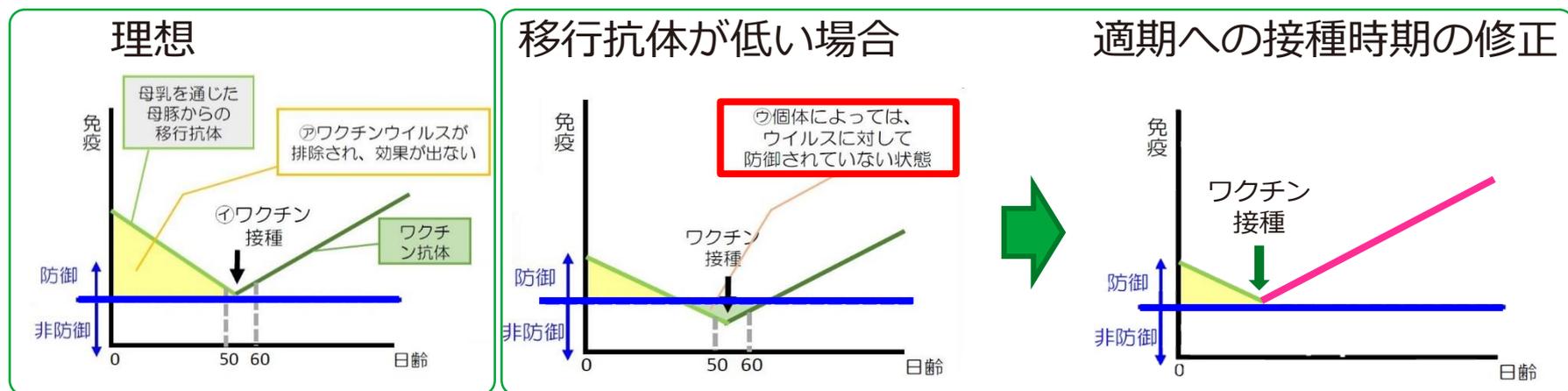
- ・ 衛生管理区域専用の衣服、靴の着用の不徹底
- ・ 衛生管理区域に立ち入る車の車内における交差汚染防止対策の不徹底

ワクチンについて

- 豚熱ワクチンは大多数の豚に豚熱に対する免疫を与える有用な対策資材です。
- 一方で、ワクチン接種農場における豚熱発生が続発しています。免疫の谷間が生じているようです。

母豚からの移行抗体のレベルでワクチン接種適期が変わります

関係者で協議し、適期にワクチンを接種することが重要



お問い合わせはお近くのJAグループまで

- 主に薬品・消毒薬に関するお問い合わせは

(株)科学飼料研究所

動薬部： 027-347-3223 札幌事業所： 011-214-3656

東北事業所： 019-637-6050 関東事業所： 027-346-9091

北九州事業所： 096-294-8322 南九州事業所： 099-482-3044

- 主に機械・設備に関するお問い合わせは

全農畜産サービス(株)

本社：03-5245-4871 九州：099-482-2521